

季節の室礼

季節を盛る 言葉を盛る 心を盛る

「室礼^{しつらい}」とは一年の節目に、また人生の節目節目に“季節を盛る”“言葉を盛る”“心を盛る”ことを言います。行事とは行うことであり、先人の霊を招き、客人を招き、感謝の心を供すること。その時々季節にあわせて野菜や果物、花などを盛って、もてなしを形にし、心を込めて表します。



節分

節分の由来は立春の前に災厄や邪気を祓い、新しい春に福を招き入れる行事です。

「福は内、鬼は外」の「福」は

ご先祖様をお迎えし新しい年の福を招き入れる。

「鬼」は一年の邪気や冬の寒気を払います。

豆（鬼を追い払うために武器なので、

固い生豆を室礼では使う）

柊 トゲで鬼を追い払う

鯛 焼いた時の臭いで鬼を追い払う

あたり棒 武器

赤い奉書 厄除けの色

受講の感想

お教室で学ぶことは毎回びっくりする事ばかりです。豆まきは毎年していましたが、豆は武器になるので硬くなければならぬと、生豆を使うことを初めて知りました。

もともと中国から日本に伝わり、鬼を災害や寒気に見立て、追いはらう行事として一般に広がっていったそうです。

豆まきに登場する赤鬼と青鬼が、ウシの角とトラのシマシマパンツをはいているのは、古代中国の陰陽五行説（丑寅は鬼門の方角）の考えから来ていることを知り、オニさん達のなぞが解きました！

お道具の一つひとつの意味を学んだ後に、威勢よく豆まきをしました。内にあるものも全て払い、「見えないコトを、形あるモノを借りて表わす」ことができ、豆まきをし終わってとつてもすっきり。新しい春の始まりの準備ができたように思えます。（熊丸梨奈）

提供：室礼三千（しつらいさんぜん）

東京都杉並区浜田山3-16-5 Tel 03-3304-7020（火～土曜日午前10時～午後5時／日・月曜定休日）●体験教室もあります